

番号	施策	KPI (重要業績評価指標)								事業効果 ※2	審議会委員からの評価		
		成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値		達成率 ※1	評価 ※3	意見
1	農林水産物の振興	認定農業者数	1,049	1,054	1,040				1,075	後退	効果がなかった	有効でない	有効でないという評価であるものの、トマト、ミニトマト等の生産・販売は好調であり、事業に対する効果が上がっている側面もあるため、事業検証する際に様々な状況把握・分析を行うことを検討すべき。
		主要農産物の経営面積(単位:a) 温州みかん	97,412	—	—				98,000	測定不能※農林業センサスより			
		主要農産物の経営面積(単位:a) いちご	9,703	—	—				9,800	測定不能※農林業センサスより			
		主要農産物の経営面積(単位:a) トマト・ミニトマト	21,472	—	—				22,000	測定不能※農林業センサスより			
2	農林水産業の担い手育成と受皿づくり	新規就農者数	9	11 【目標達成】	5				20 当初目標 (10)	後退	効果がなかった	有効でない	有効でないという評価であるものの、継続した支援体制で長期的に取り組むべき。今後も就農希望者向けの施策や研修に取組み、新規参入しやすい環境を作るべき。
3	農林水産物を活用した商品の開発と販路拡大	6次産品売上高(単位:千円)	82,540	61,900	58,277				160,000	後退	効果があつた	有効でない	売上が伸び悩んでいるため有効でないという結果になったものの、商品開発数が増えている点は評価できる。今後は、日本遺産に関連した開発やふるさと納税の返礼品といった様々なアイデアを集約しながら事業に取り組むべきであり、市民への消費拡大を進めるべき。
		6次産品開発数(累計)	59	66	69				90	32.2%			
4	新規企業の誘致と雇用創出	誘致企業の玉名市在住就業者数(年度末時点)	1,052	1,038	1,078				1,059	目標達成	相当程度の効果があつた	有効でない	就業者数の増加は評価できるものの、企業誘致が進んでいないことにより有効でないとの判断となった。企業誘致については、企業誘致用の土地の造成、インフラ整備の充実、空き校舎の活用等検討すべきであり、また現在の誘致企業が減らないような施策も必要。
		誘致企業数(立地協定締結企業数)(年度末時点)	24	24	24				29	0%			
5	起業家の創業支援	創業者数	5	7	4				13	後退	効果がなかった	有効でない	事業の継続は今後も必要と考えるものの、現在の施策の効果が成果として表れていない。市HPでの空き店舗情報の掲載、空き店舗の子育て支援への利用等新たな施策を検討すべき。
		空き店舗数(年度末時点)	57	63	72				44	後退			
6	市内企業・就業者の支援	中心市街地新規出店数	7	8	4				10	後退	効果がなかった	有効でない	玉名で企業・創業したいと希望されるような魅力ある街(商店街)づくりとはどのようなものか検討を行い、支援事業に反映すべき。
7	インバウンド事業の推進	外国人宿泊観光客数	1,000	2247 【目標達成】	1,373				3,500 当初目標 (2,000)	37.3%	効果があつた	有効	地震の影響により数値が落ち込んでいるものの、事業内容は評価できるため有効と判断する。今後も交付金事業の成果を活用し、周辺市町等と連携も図りながら事業を推進すべき。さらには、近隣他国への新規誘致、インバウンド受入施設と観光ルートの整備及び魅力的なプランの作成も検討すべき。
		香港、台湾からの玉名市ホームページへのアクセス数	1,680	—	1,661				5,000	後退			
8	着地型旅行商品開発の推進	着地型旅行商品参加者数	70	189	209				200	目標達成	相当程度の効果があつた	有効	参加者数の増加は評価でき、事業の継続は今後も必要と考える。今後は、周辺自治体との連携を図った企画と広報、年間を通して参加できる商品の開発・実施を推進すべき。
		イベント参加者数 等	386,141	357,575	294,818				400,000	後退			
9	スポーツツーリズムの取り組み推進	新規スポーツ大会の誘致・開催数	1	1	3				4	66.7%	相当程度の効果があつた	有効	様々な取組みを行っている点、費用対効果が高い点が評価できる。今後は、大会開催に伴う経済効果も考慮しながら、既存大会の魅力向上、情報発信の強化を行ってほしい。また、NHK大河ドラマの放送効果も利用すべき。
		新規スポーツ大会への参加者数	113	206	707				500	目標達成			
10	玉名版DMOの構築	玉名版DMOによる雇用創出数(累計)	—	0	4				5	80.0%	相当程度の効果があつた	有効	観光や玉名ブランドの目玉づくり、リピーターになってもらうための施策、温泉旅館の質・サービスの向上を進めながら、周辺市町の観光資源も活用したより広域的な事業も展開すべき。
		入込観光客数	2,468,776	2,475,115	1,528,135				2,500,000	後退			
		温泉旅館等宿泊数	100,742	107,081	129,242				110,000	目標達成			
		物産展における玉名ブランド認定品等販売額	1,912,125	2,252,370	2,384,246				3,000,000	43.4%			
11	医療・福祉の充実	九州看護福祉大学卒業生の市内への就職者数	9	11	5				20	後退	効果がなかった	有効でない	医療福祉の充実については、地域包括ケアシステムの構築、産学官連携による地域福祉推進事業の強化が必要であり、今後建設が予定される新病院の内容にも注視すべき。地元学生の雇用確保については、他の自治体と連携して合同説明会を開催するなどして、玉名地域の優れた点をもっとアピールすべき。
12	玉名市への転入の促進	移住支援施策を受け転入した転入者数	119	194	108				200	後退	効果がなかった	有効でない	転入促進のため、魅力あるまちづくり、定住のための環境整備、HP等でのアピール及び他市町と連携した取組み等様々な施策を推進すべき。

番号	施策	KPI（重要業績評価指標）								事業効果 ※2	審議会委員からの評価		
		成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値		達成率 ※1	評価 ※3	意見
13	若い世代の結婚希望の実現	成婚者数(単位:組)(荒玉郡市の5年間の累計)	25	6	13 (7)				55	23.6%	効果があった	有効	会員数が増加しており、成果が出ていることについては評価できる。今後も、成婚者数が伸びる様な支援、事業内容のアップデートを進めるべき。
		結婚サポートセンター会員数(荒玉郡市の合計)	1,200	1,459	1,834				2,000	79.3%			
14	切れ目ない妊娠・出産・育児支援の充実	訪問指導率(従来の一時的訪問指導)	85.2%	89.7%	89.2%				90.0%	83.3%	相当程度の効果があった	有効	数字の高さは評価できる。思春期保健講座等の開催回数を増やすといった課題に取り組みつつ、安心して出産できる環境づくりを目指すべき。また、目標達成している成果指標についても、さらに割合を高めていただきたい。
		妊娠11週以内の妊娠届出数の割合	91.2%	94.6% 【目標達成】	96.0%				94.0%	目標達成			
		低出生体重児の割合	8.6%	7.8%	10.5%				6.0%	後退			
		この地域で子育てをしたいと思う親の割合	—	—	96.8%				65.0%以上	目標達成			
		思春期保健講座等の開催回数	4	1	2				7	後退			
15	子育て支援の充実	認可保育所(園)の待機児童数	20	21	12				0	40.0%	効果があった	有効	今後は0~2歳児の待機児童解消対策、子ども医療費事業、放課後児童健全育成事業、発達障害児への支援対策事業、保育料の負担軽減等様々な事業や課題に積極的に取り組むべき。
		学童保育クラブ数	12	14	13				16	25.0%			
16	特色ある学校づくりの推進	学校生活が楽しいと考える児童・生徒の割合	93.4%	—	93.7%				95%以上	18.8%	効果があった	有効	学校に興味を持っていない子どもたちに興味を持たせることが必要のため、今後も玉名独自の取組も含め様々な施策を行い、特色ある学校づくりを目指すべき。
17	公共交通の利便性の向上	路線バス、乗合タクシーの利用者数	929,031	871,753	844,883				930,000	後退	効果がなかった	有効でない	利用者数の減少については、人口減少等の理由はあるものの、利用者減少路線の精査は必要である。利用実態の分析や利用者のニーズの的確な把握を行いながら、今後も市民の利便性の確保と効率的な運行に努めるべき。
18	高齢者福祉の充実	支援事業利用者数	17,551	18,195 【目標達成】	18,483				22,000 当初目標 (18,000)	20.9%	効果があった	有効	今後の高齢者増加に対応するため、支援事業費のさらなる拡大、サービスの充実、内容の周知、利用しやすい環境を整えるといった課題に取り組むべき。
19	防災体制の強化	避難行動要支援者登録者数	1,623	1,543	1,524				2,000	後退	効果があった	有効	要支援者登録者情報については、新規追加、訂正をこまめに行いながら、登録者の適正な把握に努めるべき。また、自主防災組織については、認知度の向上及び訓練の実施を進めるべき。
		自主防災組織結成率(258行政区)	66.7%	76.0%	77.4%				100.0%	45.5%			
20	安全なまちづくり	防犯灯のLED化率	13.1%	28.7%	38.4%				47.0%	74.6%	相当程度の効果があった	有効	地域の安心・安全のために防犯灯関連事業は必要であるため、引き続き事業を実施すべき。また、見回り、声かけといった推進も必要。
21	公共施設等の総合的な管理によるまちづくり	市保有公共施設の延床面積(単位:m ²)	310,806	—	300,757				306,358	目標達成	非常に効果的であった	有効	成果指標は達成しているため、延床面積の削減だけでなく、施設の集約化や学校統廃合による空き校舎の有効活用の実績(件数等)なども注視すべき。また事業を進める際には、市民の意見を把握する機会を設ける必要がある。
22	玉名市民・市内企業・行政の協働促進	たまなスタンプ会加盟店数	120	119	114				150	後退	効果がなかった	有効でない	加盟店を増やすため、利用者が使ってくれるような仕組みづくり及びスタンプ会の取組、ポイントカードのさらなる周知が必要。
23	企業・団体や周辺自治体との協働促進												

※1 達成率:達成率については、基準値が目標値を達成した場合は100%。それ以外については目標値に対する進捗率で表示。進捗率は、(H28年度値－基準値)／(目標値－基準値)×100

※2 事業効果の判断基準

- (1) 非常に効果的であった ……施策の指標全てが目標値を上回った場合
- (2) 相当程度の効果があった ……施策の指標が目標値を上回ることにはなかったものの、5割以上達成した場合(複数の指標がある場合は平均で5割以上達成した場合)
- (3) 効果があった ……施策の指標が目標値を上回ることにはなかったものの、事業開始前より改善した場合(複数の指標がある場合は平均で改善した場合)
- (4) 効果がなかった ……実績値が基準値よりも悪化している場合

※3 総合評価については、委員の評価の平均値で判断。